

「イソベっちの、前へ前へポッポー！」

2012年6月17日(日曜)

ゲスト:三輪真也さん(アフラック大阪総合支社 副支社長)

第 55 回の「のびのびさん」は、アフラック大阪総合支社、副支社長、三輪真也さんです。

Q. どのような事業をされている会社ですか？

アフラックは1974年に、日本で初めての「がん保険」を作った会社です。それ以来、「がん保険」や「医療保険」といった、自分らしく生きるための生命保険を提供しています。

Q. 昔と今では保険のあり方は変わってきていますか？

生命保険と申しますと、よく命にかけるお金と言われますが、最近の傾向としては、自分のために保険に入る方が非常に多いです。

Q. 保険はやはり安心のために大切なことですか？

保険は人生に起こりうる万が一のリスクをサポートするものだと思います。例えば、ガンという病気は今や2人に1人がかかる病気になっています。自分だけでなく、ご家族や従業員が病気になった時、保険に加入していれば、治療費を気にすることなく治療に専念できる、これはとても大きなことだと思います。

Q. 利用された方の評判はいかがですか？

現在、大商の会員様のうち千件を超える会員様にご加入いただいております、すでにお役立ていただいた額は約4億1千万円に上っています。最近、入院期間が短くなり、通院が多くなっています。こうした医療の変化に合わせて保険も対応していかなければいけません。加入者からは、通院にも利用できるのも、助かるという声をいただいております。

Q. 大切にしている言葉「のびのびワード」を教えてください。

「生きるを創る」です。

自分ではコントロールできないリスクに対して、初めから保険のような形でサポートしておくのか、どういう生き方をしたいのかなど、自分らしい生き方は、自ら創り出していくものだと思います。

ありがとうございました。